

## 第4次群馬県情報化推進計画の進捗状況（平成30年度）について ～群馬県情報化推進懇談会による評価結果～

群馬県情報化推進懇談会は、第4次群馬県情報化推進計画の平成30年度の進捗状況について、次のとおり評価を行いました。

### 1 評価方法

(1) 指標の進捗状況は下表の4段階で評価した。

進捗動向	評価の表示方法
目標を上回り、達成した状態	達成 A
目標に向かい、策定時から前進している状態	前進 B
計画策定時から目立った数値の変動が見られない状態	横ばい C
計画策定時より後退している状態	後退 D

(2) 指標以外の取組（主な取組）は、事業の実施状況と成果を確認することで評価を行った。

### 2 評価結果

(1) 指標等の評価

基本目標	1 ICTの利活用を推進する環境の整備
項目	(1) 正しく安全にICTを利活用できる人づくり (2) 県民の生活を豊かにするICT基盤の整備促進

項目	指標	策定時	進捗		目標値	動向
			前年度	現状値		
(1)	小・中学校のICT活用能力	(H27年度)	(H29年度)	(H30年度)	(R1年度)	横ばい C
	①コンピュータで文字を打つなど基本的操作が身についている小学生の割合	95.0%	92.9%	94.5%	100%	
	②コンピュータ等の情報手段を積極的に活用している中学生の割合	82.5%	83.3%	87.7%	100%	
	インターネット利用時に守るべきルールやマナーを身に付けている小・中学生の割合	小	97.0%	95.4%	95.8%	100%
		中	98.2%	96.6%	96.9%	100%
(2)	県民の活動拠点となる県有施設のWi-Fi環境導入率	(H28年度)	(H29年度)	(H30年度)	(R1年度)	前進 B
		20.7%	27.6%	29.3%	70.0%	

**【懇談会の主な意見】**

- 大学の新生を対象にインターネット利用のルール、マナーのテストを実施しているが、その結果に比べると小中学生のICT活用能力の指標は非常に高く見える。
- 指標は児童生徒の自己評価によるとのことなので、保護者の目線で評価したら異なる結果になるのではないか。
- 本県独自の標語「おぜのかみさま」が浸透している効果とも考えられる。先進的な取り組みとして積極的にアピールしたほうがよいと思う。
- サイバーセキュリティを確保する取り組みとして、県警と県内全ての大学等が共同対処協定を締結した。以来、学生によるサイバーパトロールや文化祭での啓発等が行われている。

基本目標	2 ICTを活用した安全・安心な暮らしづくり
項目	(1) 安全なぐんまの実現 (2) 優しいぐんまの推進

項目	指標	策定時	進捗		目標値	動向
			前年度	現状値		
(1)	上州くん安全・安心メール登録件数	(H27年度) 38,888件	(H29年度) 44,523件	(H30年度) 47,730件	(R1年度) 50,000件	前進 B
(2)	救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間（統合型医療情報システム運用）	(H27年度) 36.4分	(H29年度) 36.5分	(H30年度) 36.7分	(R1年度) 現在の水準を維持	前進 B

**【懇談会の主な意見】**

- 上州くん安全・安心メールの登録件数は順調に増加しており、評価できる。
- 各市町村が配信している安全安心メールにも引用されるなど、価値のある取り組みである。
- 救急搬送時間は、策定時の水準をほぼ維持できている。今後は更に、処置が始まるまでの時間を計測し、その短縮に努めるべきではないか。
- ICTを活用した働き方改革として、民間企業では台風により出勤困難が見込まれる日に在宅ワークを活用している等の例がある。

基本目標	3 ICTを活用した地域・産業の活性化
項目	(1) ぐんまの魅力発信といきいき地域づくり (2) 未来を拓くぐんまの産業支援

項目	指標	策定時	進捗		目標値	動向
			前年度	現状値		
(1)	SNSを活用している県内市町村数	(H28年度) 25市町村	(H29年度) 29市町村	(H30年度) 30市町村	(R1年度) 35市町村	前進 B
(2)	IoT支援実施企業数	(H28年度) —	(H29年度) 87社	(H30年度) 101社	(R1年度) 60社	達成 A

**【懇談会の主な意見】**

- SNSを活用している市町村はどんどん広がってきている。また、SNSを開設していない市町村でも、第3セクター等がSNSで情報発信しているケースがある。
- IoT支援は本計画の策定後に始まった取組だが、早々に目標値を超えた。IoTに対する民間企業の関心の高さが伺える。

基本目標	4 ICTを活用した行政サービスの質の向上
項目	(1) 情報セキュリティの確保 (2) 住民サービスの利便性の向上 (3) 業務の効率化・情報システムの最適化

項目	指標	策定時	進捗		目標値	動向
			前年度	現状値		
(1)	e-ラーニングによる情報セキュリティ研修参加率	(H28年度) 94.5%	(H29年度) 94.5%	(H30年度) 98.9%	(R1年度) 100%	前進 B
(2)	電子申請の利用件数	(H27年度) 14,129件	(H29年度) 28,656件	(H30年度) 24,657件	(R1年度) 18,000件	達成 A
(3)	サーバ統合によるハードウェア経費削減率	(H27年度) —	(H29年度) 31%	(H30年度) 31%	(R1年度) 30%	達成 A

**【懇談会の主な意見】**

- e-ラーニング参加者はほぼ100%に到達しており、評価できる。
- 残りの約1%には、やむを得ず受講できなかった者もいるかもしれない。未受講の理由を分析することが重要である。

(2) 指標の進捗状況（平成30年度）

評価	達成A	前進B	横ばいC	後退D	合計
項目数	3	5	1	0	9
割合	33%	56%	11%	0%	—